



September 2010

TORISHIMA PUMP MFG.CO.,LTD.

Eco Pump News

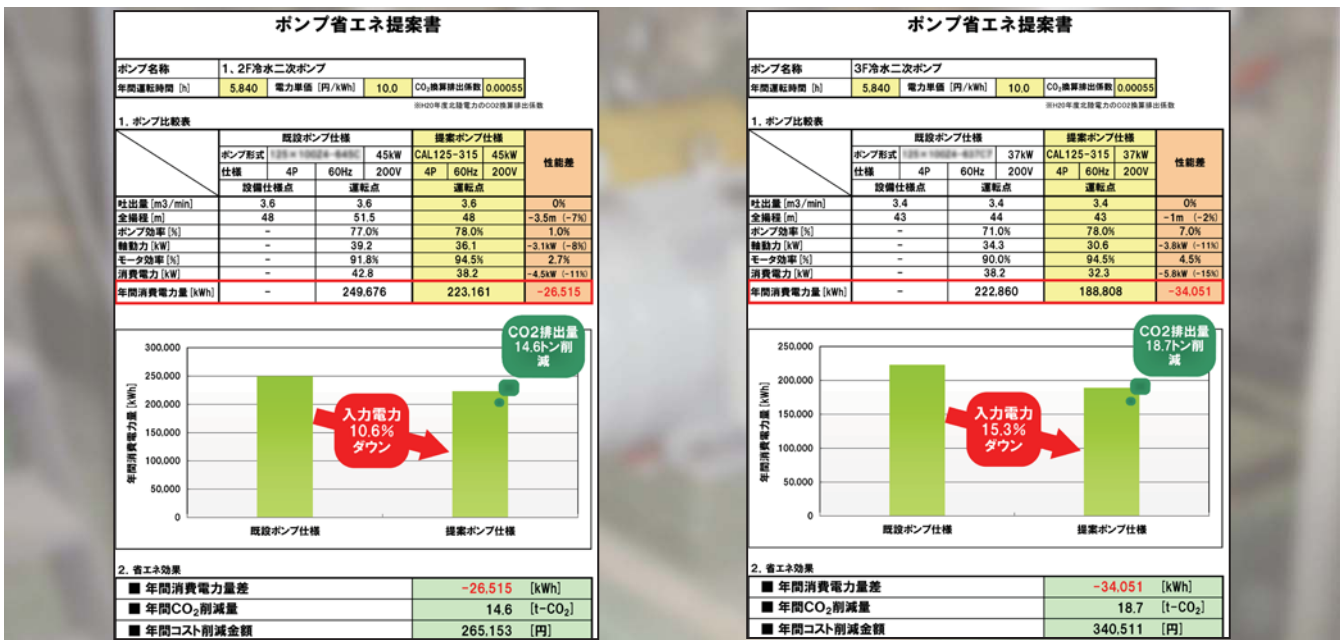
世界をリードするエコポンプ

Vol. 4

ポンプで省エネといっても、お客様にとってはポンプを変えるだけで省エネになるということは半信半疑のようである。今回はトライアル機の導入から省エネ効果を実際に実感していただき、リピートオーダーを戴いた例を取材した。

ポンプ de エコ実感

トライアルポンプの納品からリピートオーダーまでの軌跡



▲リピートオーダー時の提案書(2枚)

リピートオーダー

2010年春、某電子部品メーカーからエコポンプ6台の注文が入った。このお客様は最初に納めたエコポンプの省エネ効果を大変満足して下さったのでリピーターである。今回はCAL125-315が6台(37kW,45kWが各3台)で、このポンプによる省エネ効果は、電力量が12.8%の削減、電力費では年間約180万円の削減となる。CO₂削減量も約100tであり、お客様の省エネに大きく貢献することが出来た案件である。

トライアル機

リピート受注から遡ること10ヶ月、省エネ提案の受注が決まった。受注したポンプはCAL200-250(55kW)である。お客様にとって、ポンプ交換による省エネが半信半疑であったのか、「とりあえず1

台」という条件であった。この省エネ効果は提案時データで電力費10.1%ダウンであったが、納品後の測定では、電力費13.4%の削減、電力費では年間約80万円の削減となった。CO₂削減量も24tであり、一台のポンプで大きな省エネ効果をもたらした。ポンプdeエコを実感され、当社の提案に大変満足された。

デモ機の導入

現在、お客様をお招きして、省エネ効果を実感していただけるデモンストレーションを本社工場にて実施している。これは既設ポンプ(一般的なポンプ)とエコポンプを並列で運転し、同流量点での消費電力量を比較できるものである。今までに10社以上のお客様にお越しいただき、非常に分かり易いと好評価をいただいている。

Network

- 本社 072(695)0551
- 東京支社 03(5437)0820
- 大阪支店 072(696)8018
- 名古屋支店 052(221)9521
- 九州支店 092(771)1381
- 札幌支店 011(241)8911
- 仙台支店 022(223)3971
- 高松支店 087(822)2001
- 広島支店 082(263)8222

[PR] エコポンプで省エネ

環境・新エネルギー

海水淡水化向け高圧ポンプが世界最大手の西島製作所が生ずる全コストに占める購入代金や維持費は数%にとどまり、大半は電気代という設計を見直し、エネルギー効率を高めた。この「エコポンプ」は電力消費を従来品に比べ10〜30%削減で

グリーン テクノロジー



きるという。二酸化炭素(CO₂)排出量削減にも効果があることをアピール、2010年度には前期比2倍以上の売り上げを狙う。ポンプの生涯コストは約90%が電気代。同社によれば、汎用ポンプは15〜

Memo

西島製作所 汎用ポンプ、省エネ化



電力消費10〜30%削減

やすくした。流れる液体の性質に応じて羽根車の大きさも変更可能にした。さらにモーターもコイルの組み合わせを最適化するなどして銅の電気抵抗を減らした機種を採用、電力消費を数%改善

「半オーダーメイド」で削減できる。エネルギー効率の改善という考えや技術を汎用ポンプに応用したこと、10〜30%の電力消費削減が実現した。

あることも他社との違いを出す重要な要素だ。大量生産した標準品を販売するのはなく、できる限り顧客の仕様に合わせて生産することも省エネ効果を高めている。ここでも、受注生産が多い大型ポンプの経験を生かした。

営業面でも、大規模事業所がポンプを取り換えの際、どの程度効率が上がるか、とが省エネ効果につながる。具体的な数値を提示する提案型営業をするのは、代理店向けの研修を100回以上実施している。価格は口径によって20万〜30万円、普及品との価格差はあまりない。買い替えても電気代の低減効果も考慮すれば、「工場によっては2〜3年で収支がトントンになる」(長木氏)という。実際、大手飲料メーカーが11台のエコポンプを取り換えた際、電力消費を約20%削減できた。そのうち1台は年間CO₂排出量が14・2トンの削減、年間コストは約40万円を削減できたという。

ただ、ポンプを見直すことが省エネ効果につながる。省エネを切り口に新たな需要を開拓することができるとか。企業の設備投資意欲が回復傾向にあるなか、正念場を迎えている。

(志賀優一)